



とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	トレジャーキッズひがしくるめ保育園	クラス名(年齢)	ほし(0歳児)
年間テーマ	運動		

1. 活動のテーマ

運動あそびを通して安全能力を高め、身体の使い方を知る

〈テーマの設定理由〉

経験値が少なく、十分に身体を動かす活動が構築できていなかった為、身を守るすべが必要ではないかと思い、
【走る】【登る】【渡る】【跳ねる】【ぶら下がる】【転がる】の6つの動作を活動の中に組み込み、
身体の動かし方、可動域を広げ、安全に園生活ができるように、と考えた

2. 活動スケジュール

- ・年に数回講師を招く
- ・毎日3分基本動作を行う
- ・月に数回運動活動を取り入れる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境

- ・室内マット
- ・ぞうさんすべり台
- ・安全ベンチ

4. 探究活動の実践

〈活動内容〉

初回は、園にある用具(マット、なわとび、布団を丸めたもの)を使用して、こどもたちの動きを観察する。手、足の弱さや足裏への刺激、バランスのとり方、身体を使いこなせていないことを実感する。

実施2回目以降は、マットやぞうさんすべり台で高低差をつけて上り下りをする。安全ベンチを使ってバランスをとる。そのつど、こどもの動きによって変化させていく。

手と足を多く取り入れることで、まずは自分の身体をしっかりと支える。バランスをとる。今後も活動の幅が広げられるように、こどもたちの動きによって新たなアイテムを取り入れていきたい。

〈活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育者との関り〉

こどもの姿・声、関り	写真
------------	----

もうすこしでおやまにのぼれる
よ～ がんばれ～



からださがさえられない



おやまのぼるのじょうずだね～



ゆれるとたつていられない



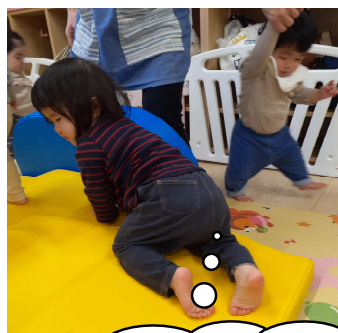
かにさん かにさん



よこからまえをむいてあるくようになる



ばらんすとするのがむずかしく、なんどもてをつく



よつばいで、て、あしをしっかりとつかってのぼろうとする

5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

ぞうさんすべり台(坂道)の斜面の高低差が、こどもたちのバランス感覚を促すのに効果があった。

斜面を上がったり下ったりを出来てきた事で達成感を楽しんでいた。エアーマットでは、跳んだり、バランスをとりながら歩いたりして、不安定差も含めて楽しんでいた。



トレジャーキッズ
ひがしくるめ保育園





とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	トレジャーキッズひがしくるめ保育園	クラス名(年齢)	つき(1歳児)
年間テーマ	運動		

1. 活動のテーマ

運動あそびを通して安全能力を高め、身体の使い方を知る

〈テーマの設定理由〉

経験値が少なく、十分に身体を動かす活動が構築できていなかった為、身を守るすべが必要ではないかと思い、
【走る】【登る】【渡る】【跳ねる】【ぶら下がる】【転がる】の6つの動作を活動の中に組み込み、
身体の動かし方、可動域を広げ、安全に園生活ができるように、と考えた

2. 活動スケジュール

- ・年に数回講師を招く
- ・毎日3分基本動作を行う(高這い、ジャンプ、よちよち歩き)
- ・月に数回運動活動を取り入れる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境

- ・ぞうさん滑り台・室内用マット、乳児用巧技台、平均台
- ・室内を広くし、こどもたちの動きを観察。動きに合わせて必要な用具を提供する
- ・ケガのないよう順番に行う

4. 探究活動の実践

〈活動内容〉

初回は、園にある用具(マット、なわとび)を使用して、こどもたちの動きを観察する。手、足の弱さや足裏への刺激、バランスのとり方、身体を使いこなせていないことを実感する。

実施2回目は、ぞうさん滑り台の板の階段を使用し上り下りを行う。自分の体を上手く支えられなかったり、下りるときに頭からおりたりしていた。平均台はまたいで前へ進む。しっかりと、足裏を床に着けて、前へ進むことを行う。

3回目では、ぞうさん滑り台で板の階段と階段を使用しおこなう。前回よりも手、足の使い方が変わり、スムーズに使えているようになっていた。
今後も活動の幅が広げられるように、こどもたちの動きによって新たなアイテムを取り入れていきたい。

〈活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育者との関り〉

こどもの姿・声、関り	写真
------------	----



よいしょよいしょ
がんばれがんばれ



うでだけでのぼろう
としているのです
まない

ゆかよりも まつのうえで
のよつばいのほうがあし
をしっかりとさえてまへへす
む



てをださず あしだけです
もうとしている



ほいくしにたすけられての
ぼったりひざでのぼる



あそびのなかにとりいれると てあしをしっ
かりつかえりようになる

5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

初めマット山は低く設定した。繰り返す行うことで身体の使い方が上手になってきたので、こどもの動きに合わせて高さを調節した。
登れない子には、少し足を抑えてあげることで登れるようになり、身体全体を使って遊ぶ姿が見られた。

ぞうさんすべり台では、はしごを使うことで手でしっかり握る、足で棒を捉えたりどうやって手足を動かすかなど個々の発達も良く見えた。

色々なものを使いながら最低限の介助をすることで、こども自身が自ら考え身体の使い方を知っていくことが運動を通して見ることが出来た。



トレジャーキッズ
ひがしくめ保育園





とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	トレジャーキッズひがしくるめ保育園	クラス名(年齢)	にじ(2歳児)
年間テーマ	運動		

1. 活動のテーマ

運動あそびを通して安全能力を高め、身体の使い方を知る

〈テーマの設定理由〉

経験値が少なく、十分に身体を動かす活動が構築できていなかった為、身を守るすべが必要ではないかと思い、
【走る】【登る】【渡る】【跳ねる】【ぶら下がる】【転がる】の6つの動作を活動の中に組み込み、
身体の動かし方、可動域を広げ、安全に園生活ができるように、と考えた

2. 活動スケジュール

- ・年に数回講師を招く
- ・毎日3分基本動作を行う
- ・月に数回運動活動を取り入れる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境

- ・乳児用巧技台、平均台、ウエブバランス、輪っか、エアーマット
- ・こどもたちの動きを観察し、室内や時には廊下を使って必要な用具を提供する
- ・ケガのないよう順番に行う

4. 探究活動の実践

〈活動内容〉

初回は、園にある用具(マット、なわとび、布団を丸めたもの)を使用して、こどもたちの動きを観察する。手、足の弱さや足裏への刺激、バランスのとり方、身体を使いこなせていないことを実感する。

実施2回目は、乳児用巧技台、ウエブバランスを円にしてバランスをとりながら進んでいく。円では、まだバランスが上手くとれない。

3回目は廊下でおこない、平均台、輪っか、乳児用巧技台を直線にして行う。直線にすることで、足裏をしっかりと使いバランスが取りやすく安定感がでた。
今後も活動内容によって、新たなアイテムを取り入れていきたい。

〈活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育者との関り〉

こどもの姿・声、関り	写真
------------	----



フラフラしちゃうよー



こわいよー

カーブはバランスがとれずおちてしまう

まえむきはバランスがとれずよこむきになる

すごいでしょーできたよー
かんたんかんたん



あしうらでしっかりけてまえにすすむことができていた



ちよくせんにすることで、あんていしばらんすがとれやすくなる



ピョンピョンたのしーまってー

5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

講師に教えて頂いた身体の動かし方(くま歩き、うさぎジャンプ、けんけんなど)を毎日の活動の中にルーティンにしていたことで、少しずつ慣れていった。

また、ウェブバランスやエアーマットなども取り入れたことでバランスを考えながら取ったりする経験になり楽しく遊んでいた。運動の経験を今後も積み重ね、より身体の使い方を学べるようにしていきたい。



トレジャーキッズ
ひがしくるめ保育園

